

大山恵みの里だより vol. 53

問い合わせ先
大山恵みの里公社
☎0859-54-6600

みくりや市で

春の収穫祭

5月26日(土)、JR御来屋駅構内の新鮮野菜直売所みくりや市で春の収穫祭を行いました。

「地元の新鮮野菜が安い」とお客さまに評判のみくりや市で、日ごろの感謝を込めて店外テントでの販売や、様々な景品を用意してのガラポンを実施。中には何度も買い物をしたガラポンに挑戦される方もありました。出荷者とお客さまの会話も弾み、店頭は和やかな賑わいを見せていました。

大山町農商工連携等サポートセンター始動

5月29日(火)、保健福祉センターなわで、大山町農商工連携等サポートセンターの立ち上げ式が行われました。



▲第1回セミナーの様子

このサポートセンターは大山町役場・西部東商工会産業支援センター・農業改良普及所・大山恵みの里公社が構成メンバーとなり、加工食品を製造販売する町内事業者の新品開発・商品の磨き上げ・販路の開拓をサポートすることを主な事業目的としています。当日は、サポートを希望される町内事業者の方々に各構成団体の代表から、サポート内容が説明されました。立ち上げ式終了後には引き続き、専門家による「販路開拓・販売力強化セミナー」の第1回目が開講。参加者は地域産品の開発や販売のポイントを熱心に学びました。

韓国・襄陽郡

友好親善交流を続けている韓国・襄陽郡から、議会議長のオ・セマンさんから7名の訪問団が6月1日(金)に来町し、大山町役場や大山きやらぼく保育園などを見学されました。オ・セマン議長は「襄陽郡と大山町はともに海・山がありよく似ています。秋には特産の松茸をテーマにした『松茸祭』があります。襄陽郡にもぜひお出かけください。今後もお互いの絆をより深めていきたい」と話されました。

訪問団が来町

翌日、訪問団のみなさんは「大山夏山開き祭前夜祭」に参加。「良い経験になった」とたいまつ行列に興奮ぎみの様子でした。



▲表敬訪問の様子

編集後記

マラソンと聞くと「ひたすら走ってつらいもの」と思っ
てしまいがちですが、会場に
足を運んでみると、色とりど
りのスポーツウェアやユニー
クなコスチューム、ゴールの
後の一杯を楽しむに参加する
グループなど、みなさんのい
ろいろな「走る楽しみ」を見
ることができました。今年の
名和マラソンフェスタは過去
最高の参加者。健康志向も
あって、マラソン大会は、い
ずこも人気です。(ひろ)



大山町広報 7月号 No.107

◆発行：大山町役場

◆編集：企画情報課

*eメール kikaku@daisen.jp

鳥取県西伯郡大山町御来屋328番地

TEL 0859-54-3111

FAX 0859-54-5216

大山町ホームページ <http://www.daisen.jp/>

◆印刷：有限会社米子プリント社

私たちのまち (6月1日現在)

○人口：17,877人(-17)

男：8,518人(-13)

女：9,359人(-4)

○世帯数：5,826世帯(2)



▲「たいまつ行列」
(大山夏山開き祭前夜祭)



この印刷物は大豆インキを使用しております。

この広報紙は、環境に配慮した再生紙を使用しています。